

# 『広島市被爆 70 年史』を語る～都市の記憶と未来～ 広島建築文化と平和都市像



## 略歴

兵庫県生まれ。1972 年東京大学工学部建築学科卒業。75-77 年カールスルーエ大学、ベルリン工科大学に研究留学。79 年東京大学大学院工学系研究科博士課程修了、「ドイツ新古典主義建築の造形理念に関する研究」で工学博士。79 年広島大学工学部助手、助教授、97 年教授となり、2010 年工学研究科教授を経て、2015 年定年退任、名誉教授。1999 年日本建築学会賞受賞。西洋・近代建築史専攻。

## 著書

『バウハウス その建築造形理念』鹿島出版会 SD 選書 1979  
『建築の現代思想 ポスト・モダン以後のパラダイム』鹿島出版会 1986  
『建築夢の系譜 ドイツ精神の一九世紀』鹿島出版会 1991  
『ベルリン 都市は進化する』講談社現代新書 1993  
『ドイツ新古典主義建築』中央公論美術出版 1996  
『二〇世紀の建築思想 キューブからカオスへ』鹿島出版会 1998

**講演者 杉本俊多(すぎもと としまさ) 広島大学名誉教授**

**日時 2020 年 3 月 14 日(土) 15:00～17:00**

**場所 広島工業大学広島校舎 301 号室**

〒730-0811 広島市中区中島町 5-7 ☎082-249-1251

※参加無料(定員:36 名…申込み先着順)、本学会員以外の方々の参加も歓迎いたします。

広島市は『広島市被爆 70 年史 あの日までそして、あの日から 1945 年 8 月 6 日』を、2018 年 7 月に発刊しました。

この 70 年誌は「都市と市民生活」を基本テーマに、大きくは戦前編(主として明治・市政施行以後)・戦中編・戦後編が基軸となり、それに特論と年表編が加わっています。執筆者は 20 人を超えていますが、その中に本学会の会員である杉本俊多先生が入っておられます。

第 3 回都市計画研究会では杉本俊多先生をお招きし、執筆に当たってその背景となった事象や資料に関すること、特に伝えたかったこと、紙面の関係で書ききれなかったこと、苦労したことなどをお聞きするとともに、広島や都市の未来などについて語っていただきます。

主催：公益社団法人 日本都市計画学会中国四国支部（企画・研究委員会）

共催：一般社団法人 日本建築学会中国支部 都市計画委員会

申込先：企画・研究委員会 担当 福馬 晶子

E-mail：[fhaniwa@gmail.com](mailto:fhaniwa@gmail.com)

※参加ご希望の方は 2 月 28 日(金)までに、お名前・ご所属を上記メールアドレスまで、ご連絡ください。